

1. 授業の概要(ねらい)

学校場面のみならず、生涯にわたる学びについて、心理学的視点から解説する。

2. 授業の到達目標

学びに関する心理学の基礎用語を説明することができる。

学ぶ意欲を高める方法を説明することができる。

知識獲得のために、効果的な方法を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSを利用した中間試験20%,レポート30%,学期末試験50%で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない。資料を用いて授業を進める。

参考文献

速水敏彦(編) 『教育と学びの心理学―基礎力のある教師になるために』 名古屋大学出版会

宮川充司, 大野久他(著) 『子どもの発達と学校 第3版 I発達と学習の心理学』 ナカニシヤ出版

5. 準備学修の内容

事前に配布・指定した資料や書籍を読んでくる必要がある。

授業で配布した資料、ノートなどを読んで復習し、LMSを利用した中間試験を受験する必要がある。

6. その他履修上の注意事項

第1回イントロダクションに必ず出席し、この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。欠席した場合の不利益が大きいので注意すること。また、この授業は資料配布や中間試験・課題等でLMSを利用するので、使い方を習得しておくこと。

授業計画は、進行状況に応じて調整する場合がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 「学ぶ」とはなにか
- 【第3回】 学びのプロセスに関する基礎的研究:代表的な学習理論
- 【第4回】 学ぶ意欲を高めるには
- 【第5回】 学びを深める教え方
- 【第6回】 記憶:記憶する,忘却する
- 【第7回】 記憶:記憶の変容と意味,メタ記憶
- 【第8回】 知能とは,知能の獲得
- 【第9回】 知の発達:学齢前までの発達
- 【第10回】 知の発達:学童～大人への発達
- 【第11回】 学びにおける障害
- 【第12回】 個性に応じた教育
- 【第13回】 教育における評価
- 【第14回】 評価にまつわる統計的知識
- 【第15回】 まとめ